

2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年1月21日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社アジュバンホールディングス

コード番号 4929 URL https://www.adjuvant-hd.co.jp/

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 中村 豊

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部本部長 (氏名) 中川 秀男 TEL 078-351-3135

四半期報告書提出予定日 2022年1月28日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績（2021年3月21日～2021年12月20日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	3,541	△5.6	471	85.1	479	76.7	331	216.7
2021年3月期第3四半期	3,752	3.7	254	-	271	-	104	-

(注) 包括利益2022年3月期第3四半期 332百万円 (212.8%) 2021年3月期第3四半期 106百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	41.46	41.35
2021年3月期第3四半期	13.10	13.06

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第3四半期	5,632	4,243	75.3	529.73
2021年3月期	5,096	4,092	80.3	512.18

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 4,243百万円 2021年3月期 4,092百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	-	0.00	-	24.00	24.00
2022年3月期	-	0.00	-	-	-
2022年3月期(予想)	-	-	-	24.00	24.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年3月21日～2022年3月20日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,702	△3.7	367	25.4	378	16.1	215	51.3	26.95

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期3Q	8,019,600株	2021年3月期	7,996,200株
② 期末自己株式数	2022年3月期3Q	8,403株	2021年3月期	6,403株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期3Q	7,993,138株	2021年3月期3Q	7,986,044株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3頁「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料はT Dnetで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が進み、行動制限が緩和されるなか経済活動に回復の動きがみられますが、引き続き変異株による感染拡大の懸念もあり、国内外の動向に留意が必要な状況となっております。

美容業界におきましては、消費者の化粧品の購入先としてショッピングモールや百貨店などでの対面販売に代わりECサイト（ECモール・ブランドサイト）での購入機会が増加しております。一方で理美容市場におきましては、サロン※注1からの専門的な知識によって提案されるサロン専売商品に対するニーズが高まっており「店販の価値」が再認識されているため、店販売上は引き続き前年を上回って推移しております。当社商品を販売するアジュバンサロン※注2においても同様の影響がありました。

売上高につきましては、コロナ禍において営業活動に制限があるなか、オンラインを活用する等、感染拡大の防止に十分注意しながら営業活動を推進した結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,541百万円（前年同期比5.6%減）となりました。詳細は区分別売上高の概要を参照ください。なお、アジュバンサロン登録軒数につきましては、当第3四半期連結会計期間末で8,876軒（前期末比480軒増）、実稼働軒数は、7,582軒（前年同期比461軒増）となりました。

利益面におきましては、持株会社化に伴う経費の発生がありましたが、売上総利益の改善及び連結子会社除外に伴う人件費等の管理費の減少により、営業利益471百万円（前年同期比85.1%増）、経常利益479百万円（前年同期比76.7%増）となりました。また、土地の売却による特別利益40百万円の計上により、親会社株主に帰属する四半期純利益331百万円（前年同期比216.7%増）となりました。

なお、当社は経営管理体制を再構築するため、2021年9月21日付で持株会社体制へ移行いたしました。

区分別売上高は、売上割戻金を含めて次のとおりであります。

区分	前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間		増減額 金額（百万円）	増減率 （%）
	金額（百万円）	構成比（%）	金額（百万円）	構成比（%）		
スキンケア	1,249	33.3	1,447	40.9	197	15.8
ヘアケア	2,106	56.1	2,326	65.7	220	10.5
その他	678	18.1	67	1.9	△611	△90.1
売上割戻金	△281	△7.5	△299	△8.5	△18	—
合計	3,752	100.0	3,541	100.0	△211	△5.6

(注) 1. ADJUVANT HONG KONG COMPANY LIMITED（連結子会社）、株式会社2Cの売上高は、「その他」に含んでおります。なお、前第3四半期連結累計期間の「その他」には、2021年3月1日付で連結除外したエクシードシステム株式会社の売上高が含まれております。

2. 売上割戻金は、商品ごとではなく売上高の合計を基準として割戻率を設定しているため、区分ごとに配賦せず合計額で表示しております。

国内海外別売上高は、次のとおりであります。

区分	前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間		増減額 金額（百万円）	増減率 （%）
	金額（百万円）	構成比（%）	金額（百万円）	構成比（%）		
国内売上高	3,608	96.2	3,394	95.9	△213	△5.9
海外売上高	144	3.8	146	4.1	2	1.6
合計	3,752	100.0	3,541	100.0	△211	△5.6

当社グループは、単一セグメントであるためセグメント別の記載はしておりませんが、区分別売上高の概要は以下のとおりであります。

（スキンケア）

スキンケア商品の売上高は、「A E R i c h」シリーズの限定商品の売上が好調であることに加えて、第2四半期からのキャンペーン等の販促活動の効果が続いたこともあり、前年を上回って推移しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,447百万円（前年同期比15.8%増）となりました。

（ヘアケア）

ヘアケア商品の売上高は、前期投入した「K A S U I（カスイ）」※注3の発売開始から1年が経過しましたが、引き続き好調に推移しており、前期を上回る結果となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,326百万円（前年同期比10.5%増）となりました。

（その他）

ADJUVANT HONG KONG COMPANY LIMITED（連結子会社）の海外売上高は、新型コロナウイルス感染症の影響が続いておりますが、徐々に回復基調にあります。

4月に設立した株式会社2Cにおきましては、「強く、美しく、生きる」をブランドコンセプトとした育毛剤「N U O S S（ヌオス）」シリーズをECサイト（<https://nuoss-tech.com/>）にて2021年10月5日より発売し、楽天市場やAmazonでのオンライン販売も開始しております。当第3四半期連結累計期間内における影響は軽微ですが、今後積極的に販促活動を展開する予定となっております。

なお、前第3四半期連結累計期間の「その他」には、2021年3月1日付で連結除外したエクシードシステム株式会社の売上高が含まれております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は67百万円（前年同期比90.1%減）となりました。

※注1「サロン」

理美容室・エステティックサロン・ネイルサロン・アイラッシュサロン・美容クリニック等を指します。

※注2「アジュバンサロン」

初回に100千円以上の仕入を行い、当社グループが指導する商品の案内方法等を定めたアジュバンサロン契約を締結したサロンを指します。

※注3「K A S U I（カスイ）」

国立研究開発法人理化学研究所との共同研究により機能性成分（機能性ペプチドA）を見出し、その後当社にて処方した新ヘアケアブランドであります。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して536百万円増加し、5,632百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末と比較して385百万円増加し、3,109百万円となりました。主な変動要因は、現金及び預金の減少67百万円、売掛金の増加278百万円、商品及び製品の増加124百万円、原材料及び貯蔵品の増加105百万円によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末と比較して150百万円増加し、2,523百万円となりました。主な変動要因は、売却による土地の減少115百万円、余資の運用による投資有価証券の増加299百万円によるものであります。

流動負債は、前連結会計年度末と比較して375百万円増加し、922百万円となりました。主な変動要因は、買掛金の増加143百万円、賞与支給による賞与引当金の減少36百万円、未払法人税等の増加199百万円によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末と比較して9百万円増加し、465百万円となりました。主な変動要因は、リース債務の増加による固定負債のその他の増加6百万円によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して151百万円増加し、4,243百万円となりました。主な変動要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益による増加331百万円、配当金の支払による減少191百万円によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の通期の連結業績予想につきましては、前回発表（2021年10月22日）の連結業績予想からの変更はありません。今後の業績推移等によって通期業績予想の見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,469,849	1,402,195
売掛金	385,507	663,761
商品及び製品	625,564	749,628
仕掛品	5,368	2,883
原材料及び貯蔵品	81,515	186,802
その他	159,235	109,267
貸倒引当金	△3,436	△5,509
流動資産合計	2,723,604	3,109,030
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,128,438	1,125,833
土地	694,283	579,283
その他	418,271	428,281
減価償却累計額	△661,766	△681,695
有形固定資産合計	1,579,226	1,451,702
無形固定資産		
無形固定資産	71,069	61,496
投資その他の資産		
投資有価証券	443,432	742,546
長期貸付金	71,861	56,183
その他	213,283	217,414
貸倒引当金	△6,430	△6,280
投資その他の資産合計	722,147	1,009,862
固定資産合計	2,372,443	2,523,061
資産合計	5,096,048	5,632,092
負債の部		
流動負債		
買掛金	104,169	247,645
未払法人税等	3,675	203,599
賞与引当金	91,108	54,724
その他	348,552	416,627
流動負債合計	547,506	922,597
固定負債		
退職給付に係る負債	48,003	50,502
資産除去債務	8,857	8,857
長期未払金	384,470	384,470
その他	15,030	21,905
固定負債合計	456,362	465,735
負債合計	1,003,868	1,388,332

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2021年3月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	765,630	771,036
資本剰余金	737,334	742,739
利益剰余金	2,600,175	2,739,829
自己株式	△5,833	△5,833
株主資本合計	4,097,307	4,247,771
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△4,904	△5,557
為替換算調整勘定	△223	1,545
その他の包括利益累計額合計	△5,128	△4,012
純資産合計	4,092,179	4,243,759
負債純資産合計	5,096,048	5,632,092

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月21日 至 2020年12月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年3月21日 至 2021年12月20日)
売上高	3,752,749	3,541,628
売上原価	1,471,162	1,187,857
売上総利益	2,281,587	2,353,770
販売費及び一般管理費	2,026,892	1,882,269
営業利益	254,694	471,501
営業外収益		
受取利息	2,048	2,008
受取配当金	2,174	4,150
為替差益	—	3,967
受取家賃	1,350	1,172
助成金収入	11,872	1,629
貸倒引当金戻入額	1,238	150
雑収入	3,383	460
営業外収益合計	22,067	13,539
営業外費用		
支払利息	39	—
為替差損	5,446	—
雑損失	—	5,819
営業外費用合計	5,485	5,819
経常利益	271,275	479,221
特別利益		
固定資産売却益	—	40,000
ゴルフ会員権売却益	811	—
特別利益合計	811	40,000
特別損失		
固定資産除却損	1,233	340
投資有価証券評価損	100,079	—
減損損失	—	1,175
その他	226	—
特別損失合計	101,539	1,515
税金等調整前四半期純利益	170,547	517,705
法人税、住民税及び事業税	36,377	198,757
法人税等調整額	29,530	△12,460
法人税等合計	65,907	186,297
四半期純利益	104,639	331,408
親会社株主に帰属する四半期純利益	104,639	331,408

（四半期連結包括利益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2020年3月21日 至 2020年12月20日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2021年3月21日 至 2021年12月20日）
四半期純利益	104,639	331,408
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,672	△653
為替換算調整勘定	△1,009	1,769
その他の包括利益合計	1,662	1,115
四半期包括利益	106,302	332,524
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	106,302	332,524
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（追加情報）

前連結会計年度の有価証券報告書の（追加情報）（新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う会計上の見積りについて）に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

（セグメント情報）

当社グループは、アジュバン化粧品の商品企画、研究開発、販売及びこれに附帯するサービス業務を営む単一セグメントであるため、記載を省略しております。